

## 第 7 支会 成木 7 丁目自治会

自治会長 早川 渉

### 自治会活動の紹介

成木 7 丁目自治会におきましては、自治会の組織のほかに成木 7 丁目振興会が設立されております。

振興会の組織運営におきましては、会長を自治会長が担い、副会長 1 名、理事 2 名、会計 1 名、監事 2 名の計 7 名で行っております。

自治会と成木 7 丁目振興会が合同で日頃から様々な活動をしております。その中でも山間部であることから、地域とのコミュニケーションをとるためのトレイル・ランの開催に特に力を入れています。

令和 7 年度も 2 大会が開催され、成木 7 丁目自治会員より協力支援者を募り行うことができました。

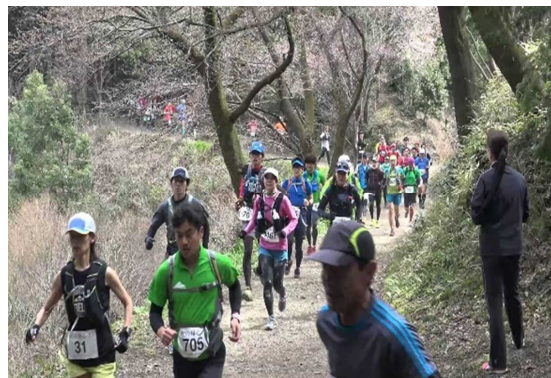
この 2 大会においては、エントリーされた方が力を発揮し、怪我の無いよう、前日にコース整備を行い、当日は応援をしながらの誘導、給水所の設置や救急対応と、連絡を密にし大会を無事開催することができました。

### 1. 「第 27 回 青梅高水国際トレイル・ラン」

令和 7 年 4 月 6 日開催

青梅市トレイアスロン協会 (K.F.C) が主催する第 27 回青梅高水国際トレイル・ランが開催されました。自治会の協力支援者が 20 名参加いたしました。

永山公園をスタートし、白岩（成木8丁目）から高水山境内折り返しの約30キロメートルのコースで、エントリー者約1000名が競い合いました。国際レースですので様々な国の方が参加されました。



## 2. 「第15回 成木の森トレイル・ラン」

令和7年5月18日開催



K. F. Cが主催する第15回成木の森トレイル・ランが開催されました。自治会の協力支援者40名及び駐在、消防関係者、第七中学校の生徒など協力をいただきました。

成木の家をスタートし林道から高水山境内を經由し、本堂裏から巻き道で岩茸石山・黒山・棒ノ嶺・黒山・都県境・小沢峠を下山、ウワッパラ・旧参道・常福院脇・成木の森活動拠点をゴールとし、約21キロメートルのコースをエントリー者約500名が参加されました。協力支援者は午前7時より午後4時まで活動しました。

今後もこのように2大会のトレイル・ランを開催し、エントリー者同士の交流や成木地区の地域の発展やコミュニケーションを大切にしたいと考えております。

## 第八支会 「東京都地域の底力発展事業助成」活用事業

### 第8支会ささえあいフェスティバル

- 1 日程 令和7年10月4日(土) 午後1時～午後5時(作品展示のみ)  
10月5日(日) 午前9時～午後3時
- 2 会場 東青梅市民センター
- 3 観覧者 約1,750人
- 4 事業内容
  - (1) 地域の小中学生、保育園児の作品展示(絵画や工作など)
  - (2) 自治会員の作品展示(絵画、手芸、写真など)
  - (3) 第八支会および各種団体(青少健、環美、安協、自主防、守る会など)の活動紹介
  - (4) 自治会加入促進活動およびYouTubeを活用した支会活動のPR  
(タブレットを使用したPRコーナーを設置)
  - (5) 防犯意識向上のためのPR活動(青梅警察署、地域の安全を守る会の連携)
  - (6) 地域のボランティア団体および近隣施設の作品展示・販売(団体の紹介を含む)
  - (7) 地域団体の演技披露
  - (8) 野菜の即売会(地産地消)
  - (9) 子どもを対象にしたシールラリー
  - (10) 子育て支援として「あげよう もらおう」コーナーの実施

### 第8支会学校連携事業

#### 1 内容の紹介

第八支会創立50周年記念誌の作成をきっかけに、自治会の有志で「地域の歴史と文化を伝える会」を発足。小学校、中学校で部会を2つに分け、自治会長・自治会長OBの各部員が得意分野で資料の作成や授業を受け持つ。

部会それぞれでおよそ60～70ページ程度の資料冊子を作成し、令和7年度現在、第八支会の学区にある小学校・中学校各4校の合計8校で特別授業および地域住民向けに東青梅市民センターにて公開授業を開催している。資料冊子は受講者用に配布しているが、冊数に余裕があれば、希望する図書館などにも配布。公開授業については、YouTube「第八支会チャンネル」にて後日公開している。

授業は各部員が最長20分程度で受け持ち、パワーポイントや実物、動画などを用意し、工夫して授業を行っている。各学校の地域文化や部員の予定に合わせて時間配分や授業担当者を決めているが、部員によっては学校ごとに授業の内容自体を変えており、さらなる創意工夫がみられるところである。

#### 2 費用

小学校冊子：108,900円

中学校冊子：139,392円

#### 3 感想

地域について学ぶ機会として各学校・生徒・保護者からも好意的な感想をいただいております。冊子についても興味を持っていただいた市民・文化研究者・図書館などから問い合わせを例年受けている。

来年度で10周年となる事業だが、自治会OBの一部部員は引継ぎを考えている。現役の自治会長が新規で担当する場合もあるため、各部員の得意分野を發揮していただくとともに、引継ぎによっても授業を行えるよう、負担を減らす工夫も必要と考える。

受講者、参加者ともに好評な事業であるため、未永く続けたい。

第八支会では、保育園・小学校・中学校を含め地域の各種団体と連携を深め、地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して日々活動しております。以上2つの事業を地域の底力発展事業助成を活用し、実施しました。

ささえあいフェスティバルでは、地域住民や関連団体等との連携が図れ、地域活動の幅が広がり地域の活性化につながりました。

また、学校連携事業では、子どもたちに地域の歴史や文化を伝えることで、自分の住むまちについて興味を持ち、友達、家族、地域の方々と世代を超えた交流を図るきっかけづくりができました。

これらのイベント成功が、支会・自治会と地域住民とのつながりをこれまで以上に深める架け橋になったように思います。





## <補助金等の有効活用>

青梅市や東京都から発信されている様々な補助があります。当自治会として令和6,7年度にて下記の申請をして援助を受けました。

### ① 自治会館補修1 (集会施設省エネルギー機器更新支援補助金)

『市補助・現在は終了』

当自治会館は30年前の1995年に建築され現在に至っております。2階建てにて、1階は875㎡の洋室で2階は1,094㎡の和室が完備されており、自治会活動は勿論、会員同士の同好会活動や地域行政の会議等に使用されております。使用頻度も高く年数も経過しており下記申請にて2024年9月に工事を行いました。

(1) LED照明への更新	¥160万	
(2) 省エネエアコンへの更新	¥320万	(ガスから電気への交換)
総 額	¥480万	市からの補助 ¥300万 自治会負担 ¥180万

### ② 掲示板設置 『市補助』

既に4か所の掲示板がありますが、一番人通りの多い平松緑地に無かったため5か所目の設置を新町市民センターに依頼し、2025年9月に設置されました。自治会費用負担はありません。

### ③ みまもり自動販売機設置 (防犯対策) 『市』

防犯対策を兼ねて、自治会館敷地内にみまもり自動販売機の設置を市役所に依頼しました。7月にキリンビバレッジと契約し、設置されました。電気代としてキリンビバレッジより¥3,000/月が自治会の収入となっております。

### ④ 自治会館補修2 (内・外装及びシルバー対応) 『市補助』

令和6年に省エネ機器更新補助を受けましたが、施設の老朽化及びシルバー対応を集会施設設置等事業補助金にて申請し、工事を10月に完了しました。

(1) 屋根・外装塗装	¥300万	
(2) シルバー対応	¥200万	(トイレ和→洋、玄関内・外装等)
総 額	¥500万	市からの補助 ¥250万 自治会負担 ¥250万

⑤ 防災備蓄倉庫設置 『都補助・現在は終了』

倉庫設置にあたって会館敷地内では土地がなく、近くの平松緑地内にて設置しました。

- (1) 依頼時期 2025/6/下旬
- (2) 都への申請時期 2025/8/中旬
- (3) 助成金交付決定通知 2025/10/初旬
- (4) 建築許可通知 2025/10/中旬
- (5) 倉庫建築 2025/11/下旬
- (6) 交付金申請 2025/12/初旬
- (7) 交付金受取予定 2026/2/下旬

上記、確認・許可申請業務	¥ 2 6 万	
基礎工事	¥ 2 1 万	
本体工事	¥ 2 3 万	
総 額	¥ 7 0 万	都からの補助 ¥ 7 0 万 自治会負担 ¥ 0

次回は東京都地域の底力発展事業助成を申請して、自治会活動に利用していきたいと思っています。



自治会館全体



会館入口シルバー対応



みまもり自動販売機



平松緑地



自治会館2階



掲示板(平松緑地)



防災備蓄倉庫(平松緑地)

## 支会で自治会員加入促進活動を実施

青梅市自治会連合会第10支会長 瀬崎 正吾

本年10月5日（日）、わかぐさ公園において、一般社団法人こーよ青梅主催による「わかぐさマルシェ2025」が開催されました。

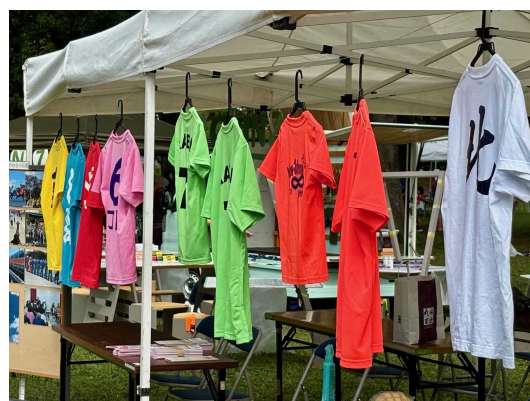
その会場において、青梅市自治会連合会第10支会のブースを設けて、各イベントで着用する各自治会のTシャツの掲出、第10支会で実施した活動写真のパネル展示、自治会加入案内のチラシ・パンフレットを来場者に配布しました。

多くの来場者が足を止め、Tシャツを眺めたり、チラシ・パンフレットを持ち帰ったりしていました。

さらに、運動会でもお馴染みの恐竜の着ぐるみも登場し、集まってきた子供たちを楽しませました。

今回の活動を通じ、自治会に興味を示してくれる方は一定数おり手応えを感じました。

今後もこうした加入促進活動を展開していこうと思います。



# 河辺町5丁目自治会納涼夏祭り

第10支会 河辺町五丁目自治会会長 下山 克己

7月26日土曜日に開催いたしました『納涼夏祭り』について紹介させていただきます。

昨年は、コロナ禍が明け久々の『納涼夏祭り』開催で役員と地域の皆さんで協力し準備しましたが、開催直前のゲリラ豪雨と突風で会場のテントと照明が全壊、止む無く直前で中止となってしまいました。

今年の『納涼夏祭り』はテントや照明機材購入の予算面と役員不足など運営面で課題がありましたが、地域住民の親睦を深め地域の「絆」を育む楽しい『納涼夏祭り』を目標に、役員と地域住民が協力し運営に取り組み、予算面では「東京都の地域の底力発展事業助成金」活用し、楽しい『納涼夏祭り』開催することが出来ました。



(昨年の会場全壊)



(今年の案内ポスター)



(青梅太鼓さんの演舞)

- 開催時間：17時～20時の3時間、地域の皆さまとの楽しい夏の一時となりました。
- 開催内容：盆踊り・地域の皆さまのお囃子披露・青梅太鼓さんの演舞・大抽選会など。
- 模擬店：子供コーナー・輪投げ・くじ引き・綿あめ・ポップコーン・ヨーヨー釣り  
メダカすくい・かき氷・焼きそば・ウインナー・焼き鳥・ドリンクコーナー各種など。

親子で輪投げ、メダカすくい、ヨーヨー釣りで楽しみ。大人は、生ビール・ハイボール片手にお囃子や迫力ある青梅太鼓さんの演舞を楽しみ。地元商業会と自治会コラボの抽選会で大いに盛り上がりました。



# 防 災 訓 練

第 1 1 支会 支会長 中 里 晃

第 1 1 支会地区では、これまで例年 8 月の最後の日曜日に防災訓練を実施していましたが、今年は、他の事業の日程の関係から 7 月 6 日（日）に開催しました。

訓練は、第 1 1 支会地区防災対策委員会主催で開催されますが、第 1 1 支会に加入していない 4 つの自治会にも防災対策委員会には加入していただいているため、支会未加入の 4 自治会、消防団第 3 分団第 3 部・4 部、交通安全協会第 1 5 支部、まとい会霞東支部、女性防火防災の会第 1 1 支部、防災士、民生児童委員、地区内の高齢者福祉施設職員、藤橋小学校、今井小学校、第三中学校、新町中学校、今井駐在所、青梅消防署など、多くの皆様に、ご協力とご参加をいただきました。

当日は、今井市民センターに本部を設置し、藤橋小学校と今井ふれあい公園の 2 箇所の会場に分かれて訓練を行いました。今年度は、避難訓練、通報訓練、初期消火訓練、パタット担架を使用した救出訓練、非常食体験訓練を両会場で行い、260名の参加をいただき、充実した防災訓練を実施する事が出来ました。

また、防災訓練の他、防災講演会も毎年実施しており、今年度は「日常に潜む危険」について学ぶことが出来ました。

幸いここ数年、当地区では大きな災害の発生はありませんが、日本全国では、様々な大きな災害が発生しています。いざ災害が発生した時には、住民の「自助・共助」が必要です。そのため、防災訓練の実施などにより、今後とも、住民の防災への意識啓発や防災力の向上に取り組んでいく事が大切だと考えています。



▲藤橋小学校



▲今井ふれあい公園

# 今井・藤橋合同第11支会夏祭り

第11支会 支会長 中 里 晃

第11支会では、地域の多くの関係団体のご協力もいただき、令和5年度から第11支会の事業として「夏祭り」を開催しており、今年は開催日をこれまでの7月末から8月30日と変更し、「二百十日の風祭りの夕べ」と題して、今井ふれあい公園で開催しました。

この夏祭りは、毎年、東京都の「地域の底力発展事業助成」を活用して開催しておりますが、今年度から申請時期が約1カ月前倒しになったため、支会役員が代わった4月早々から開催内容等について協議を重ね、何とか締切りに間に合わせて申請し、助成を受けることが出来ました。

今年は、開催に当たり、昨年の経験を活かし、熱中症対策のため、数多くの扇風機の配置、水分補給用飲料の十分な準備、緊急救護用マイクロバスの配置などを行いました。

当日は、快晴で大変暑い中ではありましたが、お子様から年配の方まで老若男女問わず、約600人にご参加いただきました。会場では、参加者全員に水分補給用の飲料を配布し、かき氷やポップコーン、ヨーヨー釣り、スーパーボールすくいに加え、焼き鳥、駄菓子などの模擬店がならび、さらにアイスクリーム・牛乳、団子、焼きそば・フランクフルトのキッチンカーにも出店していただき、多くの来場者が楽しまれていました。

こうした中、ステージでは、太鼓やシャボン玉、バンド、民謡、お囃子などが披露され、最後には全員で盆踊りを踊り、盛会に終えることができ、地域の皆さんが顔と顔を合わせて集い、ふれあうことが出来る良い機会とすることが出来たと思います。



▲ 盆踊り



▲ お囃子

令和8年度

町会・自治会の地域活動を応援します！

# 東京都地域の底力 発展事業助成

例えば、

住民の交流につながるお祭りや防災訓練などに活用いただけます。



助成限度額

## 24万円

※単一町会の場合  
(詳しくは内側をご覧ください。)

### 助成率 1/2、10/10

(初めて申請される場合10/10になるなど、条件により異なります。)



## 申請期間は年4回

第1回 2月20日～3月 4日

第2回 4月16日～4月30日

第3回 7月16日～7月31日

第4回 9月16日～9月30日

※1団体当たり年度内に1回のみ申請ができます。



※ 対象団体は、区市町村において登録・把握されている町会・自治会です。  
(自治会として活動をしていても対象とならないケースがあります。)

## 助成の対象とならない事業

- ・ 物品購入や施設整備を目的とした事業（例：町会会館の修繕）
- ・ 娯楽や式典を主な目的とする事業（例：慰安旅行、花火大会）
- ・ 神事や仏事の実施を目的とする事業（例：宗教的な祭礼）
- ・ 参加が一部住民に限られる事業（例：町会の役員のみが参加する催し）
- ・ 東京都外で実施する事業・専門業者に全面的に委託する事業 など

## よくある質問



**Q** 申請に必要なものは何ですか？

**A** 申請書、事業計画書、収支予算書のほか、団体の会則・規約、役員名簿、前年度の決算・事業報告書が必要です。

**Q** 助成金はいつもらえますか？

**A** 事業終了後、実績報告書類を都に提出していただいた後、約2ヶ月後に町会・自治会の口座に振り込みます。

**Q** 交付決定前に実施するイベントは対象になりますか？

**A** 事業の主たる部分の実施時期が交付決定時期よりも前に終了する事業は対象になりません。

**Q** 複数の町会や、他団体と連携をする際の注意事項は何ですか？

**A** イベント当日のみの参加や単なる手伝いにならないように、企画段階から事業終了まで連携して取組を進めることが必要となります。

**Q** 事業実施に当たり注意が必要なことは何ですか？

**A** 実績報告に必要なため、宛名やただし書きが正しく記載されている等の要件を満たした領収書を受領してください。  
また、助成金で購入した物品等を事業で活用した写真が必要となるので、撮影を忘れずに行ってください。

**地域の底力発展事業助成** **電話相談窓口** **03-5388-3166**

東京都生活文化局 都民生活部 地域活動推進課 地域活動支援担当

**住所** 〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

**FAX** 03-5388-1331

**メール** S1161202@section.metro.tokyo.jp

リサイクル適性<sup>®</sup>  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

**260**  
省紙・省エネルギー  
環境にやさしい印刷



青梅市自治会・支会活動事例集  
(令和7年度版)

令和8年3月発行

編集・発行：青梅市自治会連合会・青梅市

問合せ：青梅市市民安全部市民活動推進課

〒198-8701 青梅市東青梅 1-11-1

TEL 0428-22-1111 (内線 2322)

メールアドレス div0940@city.ome.lg.jp

青梅市自治会連合会 HP <https://www.ome-rengou.jp>

青梅市 HP <https://www.city.ome.tokyo.jp>